

## 1 活動体験

富士山の環境保全活動に対する理解と実践を促すため2種類の活動体験を実施したので、その様子を紹介します。

### 富士山のシカ食害と対策を学ぶ体験(テープ巻き)

日時：9月7日(土)午前10時30分から午後2時まで

場所：富士山ふれあいの森林(もり)(富士宮市・西臼塚)

参加者：39名

指導：林野庁 関東森林管理局 静岡森林管理署

内容：富士山の森林内では、シカが木の樹皮を食べてしまうことで、貴重な木が枯れてしまうという被害が深刻になっています。そこで、シカから樹木を守るために行われている「テープ巻き」の体験を行いました。

また、NPO法人富士山自然の森づくりの御協力により、森づくりの現場も見学しました。



シカに樹皮を食べられた例です。大きい木でも枯れてしまう場合があります。



2人1組になって、緑化テープ(麻テープ)をウラジロモミの木に巻きました。テープは数年後には腐食して自然に帰ります。



静岡森林管理署 後藤森林整備官(右端)より、富士山のシカ被害の現状、シカ対策などについて、お話をいただきました。



NPO法人富士山自然の森づくり 仁藤会長(中央)より、森づくりの重要性などについてお話をいただきました。

## 富士山の草原性植生保全活動体験(草刈)

日 時：9月28日(土)午前10時から午後2時30分まで

場 所：朝霧高原根原県有地(富士宮市)

参加者：50名

指 導：NPO法人富士山自然の森づくり

内 容：人との関わりが減少したことなどにより、草原の形態が失われつつある朝霧高原根原県有地において、草原性植生の保全のため、静岡県及び富士宮市と共催で草刈の活動体験を行いました。

また、富士宮自然観察の会の御協力により、植物の観察会も行いました。



6班に分かれて、作業を行いました。最初に指導員の方から、作業方法やカマの扱い方について説明がありました。



2メートルほど伸びたススキを根元から刈りました。天候に恵まれ、後方には富士山が見えました。



富士宮自然観察の会の佐野さん(右端)より、現場周辺に見られる植物について解説していただきました。



予定の1haを上回る1.5ha程度の草刈をすることができました。皆さん、お疲れ様でした。

テープ巻き体験の参加者からは、「今後もシカ被害を減らすために、テープ巻きで木を守っていきたい」「一見、何の手も加えられていないように見える森も、地元の方の苦勞により作られていることがわかった。」という声が、草刈体験の参加者からは、「富士山の草原特有の貴重な植生を守っていきたい」「ワレモコウやヒヨドリバナなど聞きなれない植物を観察することができて良かった」などの声が聞かれました。参加者及び関係者の皆様、ありがとうございました。